

学習指導要領		都立神津高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の日本の政治及び国際政治の動向について 現代の政治</p> <p>関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治の基本原則として、ホブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容について知る。 ・ 民主政治への一番身近な参加手段は、選挙であり、主権者として一票の重みを認識するとともに、選挙制度の特性について理解する。 ・ 18歳選挙権実施に伴い、選挙運動について理解を深める。 ・ 我が国における議会制民主主義が、日本国憲法に明記された国民主権と国会を国権の最高機関と位置付ける政治制度を土台に、国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを知る。 ・ 現代政治の特質として、国民の価値観が多様化する中で、立憲主義の重要性を理解する。 ・ 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解し、大日本帝国憲法においては君主主権であったものが、日本国憲法の下では国民主権となったことや、現在、天皇は日本国及び日本国民統合の象徴であることなどについて知る。 ・ 日本国憲法の条文を踏まえて、日本の統治機構について理解する。 ・ 基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯などについて知る。 ・ 現代社会における権利相互の衝突に際しては、司法による調停や判決が下されることを知る。 ・ 55年体制の成立や小選挙区比例代表並立制の採用といった歴史的経緯を踏まえながら、戦後日本の政党政治の変遷について、その概要を知る。

学習指導要領	都立神津高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p> <p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の主要な機関の名称と役割について、例えば、安全保障理事会が国際平和と安全の維持を目的とした機関であることや、五か国の常任理事国が拒否権を有することなどについて知る。 ・我が国の安全保障における日米安全保障条約のもつ意義や、自国の防衛と国際社会の平和と安全に向けて自衛隊が果たしている役割などについて知る。 ・現代の国際紛争は、国家間の対立だけではなく、民族・宗教間の対立やテロ行為を端緒とするものなど、その要因が多様化しており、国際的な連携が紛争の未然防止に不可欠であることを知る。 ・市場経済の仕組みについて、完全な自由競争市場においては、価格の自動調整機能によって均衡価格が成立し、経済資源の効率的な配分が実現されることを知る。また、市場の失敗について理解する。 ・経済における政府の役割について、理解する。 ・経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方と、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る。 ・グローバル化が進展する中で、日本経済は外国経済に大きな影響を受けていることを理解する。

学習指導要領		都立神津高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の経済</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>・雇用と労働を巡る問題について、少子高齢化や産業構造の変化、規制緩和の進展などにより、就業形態が多様化し労働市場が大きく変化していることを知る。</p> <p>・国際社会における日本の立場と役割について、テーマを絞って考察する。</p>